風のガーデン

緑の王冠の宝石

風のガーデンは広大なプリンスグランドリゾート富良野の一部です。上野ファームの上野砂由紀氏によって、2008年にテレビドラマ「風のガーデン」の主要セットとして作られました。

風のガーデンの訪問者は全員、リゾートから運転してきます。かつてはゴルフコースのフェアウェイの一部であった庭の入り口から端までの長くて曲がりくねった道は、そこでかつて撮影されたドラマの雰囲気を感じさせます。花咲くアーチ、緑の広がりの上にそびえたつ木々、ベンチ、番組のため建てられた家さえ自然にかみ合っているようです。

風のガーデンの人气が急上昇したとき、原作者の倉本聰は、意欲的な俳優や脚本家のために「富良野塾」と呼ばれる学校をこの地に建てる決心をしました。元生徒二人が後に風のガーデンのヘッドガードナーになりました。風のガーデンはチューリップ、ルピナス、ヘレニウム、ユキノハナ、フロックス、そしてオリジナルのバラなど、450品種の花々を栽培しています。後者のうち2種は番組のキャラクターにちなみ名付けられ、その姿は「薔薇の庭」で見つけられます。

風のガーデンは他のリゾート施設のアクティビティを簡単に利用できます。アクティビティには、熱気球ツアー、丘でのセグウェイツアー、36ホールのグラウンドゴルフコース、ニングルテラスでのショッピングと食事などがあります。（「ニングル」と呼ばれる小妖精は明らかにこの地域に住んでいるようで、夜に出没し、リゾートとガーデンを片付けます）。

風のガーデンは4月下旬から10月中旬までの間、毎日、朝から夕方までオープンしています。